

芸劇eyeseyes plus

2023

—東京芸術劇場が注目する、
次世代の演劇界を牽引する若い才能



[芸劇eyes]

劇団た組 『綿子はおつれる』

2023.5.17Wed.- 5.28Sun.

2013年に結成、加藤拓也が脚本・演出を務める劇団。丁寧な言葉とドラマ運びで、底抜けた暴力性と虚無感がねっとり複雑に立ち上がる物語を上演している。加藤拓也は2022年にNHK夜ドラ「きれいのくに」で市川森一脚本賞を受賞、「もはやしずか」で読売演劇大賞2022年上半期にノミネートされた。近作ではまつもと市民芸術館「博士の愛した数式」、シス・カンパニー「ザ・ウェルキン」、映画「わたし達はおとな」(脚本・監督)など。

ピンク・リバティ 『点滅する女』

2023.6.14Wed.- 6.25Sun.

山西竜矢が脚本・演出をつとめる演劇ユニット。2016年の旗揚げ以降、東京を拠点に活動する。繊細な会話劇と、奇妙なファンタジー要素が溶け合う独自の世界観が特徴的。文学性の高いテーマを、ユーモアに富んだ軽妙な台詞のやりとりや照明効果を駆使した絵画的な空間演出でエンターテインメントとして昇華する。前回公演『とりわけ眺めの悪い部屋』で浅草九劇賞・特別賞を受賞。同作は若手映画監督の登竜門 MOOSIC LABで招待上映され、多方面で高い評価を得た。

ほろびて 『シー・パラダイス(仮)』

2024.2.2Fri.- 2.11Sun.

細川洋平が2009年に立ち上げ、2010年より始動させた演劇カンパニー。2015年より小さな舞台空間での創作をはじめ、さまざまな分断を描いた作品『ぼうだあ』(2020年2月)で一躍注目を浴びる。見過ごされる人々を主題にし、やがて世界が抱える問題へとフォーカスする作品を多く発表。「物語」の構造を疑いながら、演劇という枠組みの更新へ向けた思索を続けている。『あるこはく』で第11回せんがわ劇場演劇コンクールグランプリ、劇作家賞(細川)、俳優賞(吉増裕士・客演)の三冠を受賞。



[eyes plus]

ゆうめい 『ハートランド』

2023.4.20Thu.- 4.30Sun.

舞台作品・美術・映像を制作する団体として2015年に設立。主宰・俳優である田中祐希、脚本・演出の池田亮、俳優の小松大二郎、アニメーション作家のりよこで構成されている。自身の体験や周囲の人々からの「自分のことを話したい」という声を出発点として、生々しくも多種多様に变化していく環境と可能性を描き、その後、表現によってどのように現実が変化したかを「発表する」までを行う。

タカハ劇団 『ヒトラーを画家にする話』

2023.9.28Thu.- 10.1Sun.

高羽彩が脚本・演出・主宰をつとめるプロデュースユニット。2005年、早稲田大学にて旗揚げ。日常に普遍的に存在しているちいさな絶望や、どんな壮絶な状況でも変わることのない人間の些細なあり方、生き方を笑い飛ばしながらすくい取る。高い構成力と会話の妙が魅力のユニット。2022年7月コロナ禍により惜しくも全公演中止となった話題の作品が、満を持しての開幕!!

詳細は随時各劇団、劇場HPで発表いたします。※日程等は変更になる場合がございます。

本チラシに関するお問い合わせ：東京芸術劇場事業企画課事業第二係 tel.03-5391-2115

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 tel.03-5391-2111

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線・池袋駅西口より徒歩2分。(駅地下通路2b出口と直結しています)

<https://www.geigeki.jp/>

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre